

広島市植物公園 見どころ案内

秋咲きバラ (バラ科)

秋バラが見頃です。春に比べて花の数は少なくなりますが、花の色が濃くなり、香りも強くなる傾向があります。また、気温も低いので長い間バラを楽しむことができます。進化園側の通路添いのティーローズは、特に秋に色や形のよい花が多く咲きます。

アリストロキア・トリカウダタ (ウマノスズクサ科)

メキシコ原産の小低木。花卉のように見えるのは萼(がく)で、その先端は3本の長いヒモ状になっています。特異な花形は、見方によってはイカや異星人のようにも見えます。

コキア (ヒユ科)

真っ赤に紅葉しています、ホウキギとも呼ばれ、茎葉を乾燥させたものをほうきの代わりに利用していました。

アルテルナンテラ (ヒユ科)

カラーリーフの代表的な植物です。花壇の縁取りや寄せ植えに多用されます。和名はモヨウビユ。中～南米原産で、現地では多年草ですが、霜に当たると枯れるので1年草扱いをします。

コスモス (キク科)

メキシコ原産の一年草で、日本には明治初期に本格的に広まりました。明治後期には全国に普及し、現在では秋を代表する花の一つになっています。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (10/19～12/24)
特別企画展 種子の不思議展
- ◇展示温室 (11/9～11/14)
寒蘭展
- ◇屋外展示場 (10/26～11/10)
キク展

ダルマガク (キク科)

日本海側の海岸の岩場に生える多年草です。葉はピロイド状の毛で覆われていて、こんもりとした株になり、乾燥や強い風に耐えます。薄紫色の花が咲いています。

ダイヤモンドソウ

(ユキノシタ科)

湿気のある岩上に生える多年草です。花が大の字に見えることから名づけられました。秋の山野草としても人気です。

キク展 (10日まで)

友好都市である中国重慶市から寄贈されたキクを約50品種110鉢展示。日本のキクには見られない花形や花色のものもあり、必見です。

ダリア (キク科)

花が牡丹に似ているので、テンジクボタンとも呼ばれます。メキシコの高原地帯の原産で、夏の暑さは苦手です。地下部はサツマイモ様の塊根ですが、耐寒性は弱く花後に掘りあげが必要です。

特別企画展 種子の不思議展

多彩な種子の秘密を実物やパネルを使って紹介します。種子が飛ぶ様子やひつつき虫のダーツなどが体験できます。

